

鴨沂高校同窓会報

発行●京都府立鴨沂高等学校同窓会 〒602-0856 京都市上京区荒神口通寺町東入 鴨沂会館内 TEL&FAX 075-212-4445



鴨沂高校同窓会六十周年に寄せて

鴨沂高校同窓会会長 鈴木 正穂

多くの大先輩がおられる中で、三年前に鴨沂高校同窓会会長を拝命した十九期生の鈴木正穂です。大正十五年生まれの母も府立第一高女の卒業で、愚息も鴨沂高校に学びました。わが家の三代が鴨沂の校舎で学んだことになりました。私は一九四九年(昭和二十四年)一月生まれ、来年满六十歳、還暦を迎えます。同窓会創立六十周年を迎えるとともに私自身が還暦を迎えることに、不思議な縁を思います。

私が鴨沂高校に入学したのは、一九六四年(昭和三十九年)、東京オリンピックが開催された年であり、日本の高度成長が始まる活気ある頃でした。クラスは十四クラス。グループサウンズで一世を風靡したタイガースのジュリーこと沢田研二さんが同学年で、団塊の世代です。当時京都の高校制度は、総合選抜制・地域制・男女共学の高校三原則があった時代で、私たちの諸先輩は、国立大学や有名私立大学に多くの方が進学されており、東の日比谷、西の鴨沂と言われたのは少し前のことであつたでしょうか。私たちの時代も一浪したらどこかに納まるということ、「自由の学園」鴨沂高校で「演劇コンクール」や「仰げば尊し」などの行事を満喫し、またクラブや自治会活動も活発で、先輩等の築かれてきた自由な校風を誇りに思い、「自由」について考えながらも、自由闊達な高校生活を過ごしたものです。

あれから四十年余。いやそれ以前の府立第一高女の時代から正門も校舎も何も変わらずにそのまま建物はあります。自由な校風は今でも伝えられ京都で唯一標準服のない公立高校です。唯、惜しいのは、学力がある生徒が来ていても国公立や有名私立大学への進学率の低下が否めなく、女子水球部は全国的なレベルにあるようですが、私の所属していた山岳部も随分前に廃止になり他のクラブも活発ではないようです。校長をはじめ学校は学力の向上を目標に改革を目指して取り組むことを目指しておられますが、京都では私立高校が台頭し、公立の高校制度が大きく変わってきた近年、鴨沂高校の今後のあり方についても大いに注目しておく必要があります。

鴨沂高校の卒業生は二万人を超えたと言われています。京都を中心に全国に散らばっておられる卒業生が、同窓会六十周年を機に、ヒューマンネットワークを活かして、同窓会として、何らかの形で母校の鴨沂高校の発展に寄与、応援できればと願うところです。

十月二十六日の日曜日、同窓会総会を鴨沂高校の三階のなつかしい講堂で開催し、終了後、近くの新島会館で懇親会を開催することにしております。当時と変わらない校舎で青春時代を振り返りながらひと時を過ごしていただければと思っています。ぜひご参集ください。

平成20年度 京都府立 鴨沂高校同窓会総会のご案内



日 時 ● 平成20年10月26日(日)
総 会 会 場 ● 鴨沂高校(3F)講堂 13:30~受付開始
14:00~ 第一部 総会議事
15:00~ 第二部 記念講演

■ 記念講演講師 ■
むらやま おつし
村山 敦 (第8期) 関西空港(株)社長
昭和32年鴨沂高校卒業、京都大学法学部卒業
松下電器産業(株)副社長を経て現職

16:30~ 第三部 懇親会
懇親会会場 ● 同志社新島会館 (☎075-251-4393(代))
京都市上京区寺町丸太町上る
会 費 ● 8,000円 ※当日お支払い下さい。

※準備の都合上、10月3日(金)までに同封のがきで(誠に恐縮ですが50円切手を貼って)、出欠の連絡をお願いします。同窓生とお誘い合わせ下さい。

お祝い

京都府立鴨沂高等学校長

桶谷 良



京都府立鴨沂高等学校同窓会六十周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。平素より本校同窓会会長様はじめ役員の皆様また多くの会員の皆様方から本校教育の発展充実の為にご理解とご協力を賜っており、誠にありがとうございます。私は本年度の人事異動により第十九代校長を拝命いたしました。何卒よろしくお願いを申し上げます。

本校は明治五年新英学校及女紅場として発足し、明治三十七年に京都府立第一高等学校と改称。大正十二年に京都府立京都第一高等学校となり、当時の女性の羨望の的でもありました。昭和二十三年四月の学制改革により京都府立嵯峨野高等学校を合併し、京都府立鴨沂高等学校として発足しました。同年十月には高等学校再編が行われ、地域制・総合制・男女共学の高校三原則を採り入れた新制高等学校としての京都府立鴨沂高等学校が誕生しました。この歴史と伝統は今日まで伝えられ、京都府だけでなく全国にその名を高めております。校内を歩いてみますと、至る所に伝統と格式を物語る数々の建造物や、本校所蔵の上村松園様作品「夕暮」をはじめとする多くの絵画と出会うことが出来ます。まさしく鴨沂ミュージアムにやってきました趣があります。同窓会名簿を紐解きますと有識者としてまた実業界の中心的存在として多くの方々が活躍されておられることに気づきます。言葉として失礼ではありません。

すがこれほどまでに鴨沂高校の名が京都だけでなく全国的にいや海外にまで知れ渡っていることに校長として誇りに思います。六次改革の一つは教育改革ではありますが、京都府の教育改革も「京の子ども、夢・未来」プラン二一に基づき様々な改革がなされていきます。二十一年度入試より制度が大きく変わります。京都市乙訓通学圏が南北に二分され、各高等学校の特色化についてなお一層の鮮明さが要求されています。今、何十年と培われた鴨沂高等学校の価値ある歴史と伝統を守るべく、この制度改革に一丸となって取り組んでいきます。諸先輩方の温かいご理解とご支援をお待ちしております。最後にになりましたが、京都府立鴨沂高等学校同窓会の益々のご発展と諸先輩方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

関東支部のこのごろ

関東支部長 川崎 猛

京都から遠く離れ、関東で活躍する人たちも、心は京都にあるようです。私の同期の友人達も定年を迎え、次の人生を京都に求めたいとする人も少なくありません。それはそれとして、関東に住まいする一五〇〇名の人たちは、三年に一度の同窓会を開催し、各期をこえて楽しくなつて集まっています。また、各期の活動も活発です。異郷の地にいるという連帯感があるのでしょうか。

遡りますと、平成二年明治神宮そはの明治記念館に三五〇名もの同窓生が集り、第一回目の関東地域同窓会を開催しました。その熱気は三年ごとの開催へとつながり、中断していた京都の同窓会再開にむけて当時の秋田同窓会長を後押しし、意図交換会を開催し、そして今日に至っていると自負しています。

京都府立鴨沂高校同窓会会計報告

平成17年4月1日から平成20年3月31日

【収入の部】		(単位：円)	
科 目	予 算 額	決 算 額	
前 期 繰 越 金	12,879,706	12,879,706	
年 会 費 収 入	3,900,000	5,316,000	
総 会 収 入	350,000	378,000	
預 貯 金 利 息	21,000	16,424	
名 簿 等 収 入	90,000	10,000	
合 計	17,240,706	18,600,130	

【支出の部】			
科 目	予 算 額	決 算 額	
総 会 費	700,000	601,700	
会 報 製 作 発 送 費	2,400,000	2,379,572	
会 議 費	110,000	100,617	
通 信 費	170,000	119,223	
雑 費	90,000	217,334	
名 簿 D B 維 持 費	390,000	265,860	
予 備 費	800,000	0	
小 計	4,660,000	3,684,306	
次 期 繰 越 金 *	12,580,706	14,915,824	
合 計	17,240,706	18,600,130	

*次期繰越金明細

手 許 金	0
通 常 貯 蓄 金	1,168,870
定 額 貯 蓄 金	3,914,354
振 替 貯 蓄 金	9,832,600
合 計	14,915,824 (円)

す。また当時を振り返ると、関東支部の同窓会をきっかけに同期会が作られたところが三分の一もありました。第二回は日暮里ホテルラングウッド、第三回は帝国ホテルと続き、二年前の第六回は一〇〇名余の人が皇居を眼下に見る霞会館に集い、鴨沂の校歌を高らかに合唱しました。開催ごとに参加者は少なくなり、少し寂しいところですが、しかしこの数は京都での同窓会総会よりも多いのではないのでしょうか。

現在、関東支部は鴨沂高校同窓会関東支部として平成十三年に本部から承認されました。同窓会というのは任意の団体ですから、規則などにとらわれる必要は少ないのですが、鴨沂高校同窓会の組織内の一員として、関東支部は支部活動費(例えば通信費)として、関東支部の人たちも納入している同窓会費からの助成を図っていただけなものかと期待しています。しかし、本筋はあくまで自主的な運営を心がけ、同窓会開催時の若干の予備やあるいは支部地域の同窓生からの厚志

を頂き、会の運営にあてております。同窓生の強い結束をもつとも感じるときです。さて、次回の関東地域同窓会は来年度です。春遅くから初夏の頃の吉日を選んで、開催したいと計画しています。関東地域の方にはご案内いたしますが、地域の方に限らず大勢の鴨沂同窓生のご参加をお待ちしています。みなさまと一緒に、鴨沂校歌を大声で合唱いたしましょう。また、現、鴨沂高校生徒たち教師陣に、鴨沂高校改革を掲げたプロジェクトに、そしてそれに取り組んでいる桶谷良校長とともにエールを送りましょう。

なお今年四月、関東支部の幹事会において役員改選があり、西裏支部長が退任され次の方々が次期委員となりました。西裏さま、ご苦勞様でした。ありがとうございます。

関東支部 支部長 川崎 猛 (14)
副支部長 今井 康之 (13)
芝原 央充 (15)
事務局長 加藤 啓 (19)
吉川 能信 (19)

同窓会開催報告

第一期卒業生

辻 知之

前号にて、二〇〇四年四月に卒業後「五十五周年記念祝賀会」を国立京都国際会館にて行ったことご報告しましたが、二〇〇六年十一月に「喜寿を祝う会」として、同じ場所でも窓会を開催しました。第一期卒業生四三九名中、亡くなった人、住所が判らない人が年々増えて、五十五周年の時には一八二名から回答がありました。が、「喜寿を祝う会」の案内にたいして一四一名となり、出席者は四十三名で、楽しい会合となりました。第一期生の卒業の年、一九四九年を振り返りますと、法隆寺の金堂炎上とか、下山事件とか、暗いニュースがあった反面、湯川博士がノーベル物理学賞を受賞され、全米水上選手権で古橋広之進が四つの世界新記録を達成すると云う明るいニュースがありました。戦後の混乱から漸く未来への光明が見え、国民が活気を取り戻し、より良い生活を夢見て動き出した時代でした。戦時中は全く娯楽が無かったこともあり、映画がブームになり、映画館は常に満員の盛況でした。この年に名作といわれる「晩春」や「青い山脈」「野良犬」が封切られ、洋画では「大いなる幻影」「戦火のかなた」が上映されました。来年、二〇〇九年には、我々は記念すべき卒業六十周年を迎えます。この六十年を光陰矢の如しと感ずる人もあれば、長い人生と捉える人もあるとは思いますが、正直予想しなかった長寿に恵まれ、多くの卒業生と六十周年記念祝賀会を持ちたいと考えております。

第七期卒業生

鴨沂高校七期同窓会十周年を振り返って

七鴨会事務局 今岡 公栄

七期鴨沂高校同窓会を「七鴨会」と呼ぶ。二十七年前、昭和五十六年の時である。石蔵君（故人）が四十代で、サラリーマンとして、アパレルや薬品のプロパーをしていた男が、突然、化粧品会社を立ち上げた。その時に、鴨沂高校の卒業生が、彼の、新規事業を祝し多くの友人が集った。彼は幅広い交際をしていたので、同級生のなかに、弁護士、税理士もいたので、それらの人たちの協力で会社もスムーズに設立された。その時に、これだけ同期が、集ったのだから一度同窓会をやるという話になり、第一回の同窓会をこれらのメンバーで京都ホテルで行った。ホテルも関わりある人が世話をし、各組の責任者が事前に三回、四回と集い事前同窓会を行うも大いに盛り上がった。当時は、高度経済成長の真つただ中、中には、医者で、夜の帝王といわれる同級生が、ついてこいと高級クラブに皆を連れだつたものである。当時は、同窓会には一八〇名前後を集め、楽しい一時を過ごす事ができた。高校時代の同級生は、特に、親しみを感じ、同窓会をやることに新しい会ができた。六十年代にゴルフが流行りだし、女性の参加者も多くなった。七鴨会のゴルフクラブもでき、七〇・八〇年代は、ゴルフ一色であった。その、ゴルフクラブも七十二才という年齢もあり、人が、思うように集らず開会されようとしている。マジシャンも今は、

ジャン荘が潰れ、ほとんどやる人がいなくなつたが、ゴルフの後は、マジシャンを楽しんだことを思い出す。また、同級生が音楽会演奏者として出演していると、連絡を取り合つて聴衆として参加したものである。海外旅行も何回か行われている。私が、主催した旅行は、同級生夫婦と個人を集め南フランス、モナコ、ニース、カンヌに旅行、また、語学のできる人が、その国の案内役を務めて頂き、安心して参加したこともありました。これからも、同窓会で知り合った皆さんと、語らい、行動し、残された人生を楽しく過ごしたいと思つていきます。

第八期卒業生

昭和三十一年三月卒業生の近況報告

黒川 令三

五十五歳で定年を迎えた人、子育てが一段落した人たちが集り、一九九四年十一月に復活第一回八期会を開催以後二三年間隔で集つていきます。過去五回の参加人員は延べ八九五人（二回平均一七九人・会費平均一〇八〇円）、首都圏から延べ九十八人、それ以外十八人、海外五人の参加がありました。

八期会の特徴は……

- ① クラスの自主性を重んじ合同のクラス会のスタンスでおこなう
- (A) 恩師招待の対応
- (B) 案内状 年賀の発送 集計
- (C) 各クラス二名を幹事とし幹事会に出席し八期会を運営する
- ② 開催年度には年賀状を出し年初にその方の年間予定に開催日時のキープを計って貰う
- ③ 八期生の中から講演者を選出し有意義な時

を過ごす

- ・二〇〇〇年十月七日 猪熊兼勝君
- ・時代祭りを楽しく見るために
- ・二〇〇三年十一月十五日 家森幸男君
- ・食と長寿 コーカサスとヨーグルト
- ・二〇〇六年五月二十五日 加藤類子さん
- ・近代日本画 松園とその時代
- ・二〇〇八年十一月十三日予定 上野民夫君
- ・日本人の心と稲
- 【卒業時】六六〇人
- 【現在】死者及び不明者一六五人
- 【無関心】一〇〇人
- ④ 各幹事の合言葉は「一人でも多くの参加者を」としています。

第十期卒業生

元気な十期生の現況を報告します

西村 宣弘

早いもので、今年で卒業五十周年になる。現在三年毎に十期同窓会を開催しています。昨年の六月京都国際ホテルにて卒業五十周年記念同窓会を恩師五名含む約二〇〇名の出席者を集めて賑やかに開催し、会は定例の挨拶等の後、グループ活動報告や同窓生の率いる生バンドの演奏もあり大いに盛り上がりました。その準備段階で十期生のホームページを立ち上げ、活動状況を報告する形を作りましたが、ネットの利用者が全体の多分二割に満たない現状で、活用には未だ難しい状況です。でも遠距離の同期生とは結構便利に発信することが出来一応良かったかなというところです。又、この会の記念事業として五十周年の記念アルバムを作成することを立案し、デジタル技術に秀でた同期生を中心に卒業写

真と現在の写真をセットにするグットアイデアで制作開始、同窓会開始前の恩師の撮影・クラス毎の記念撮影・欠席者の写真取り寄せ・編集などの大変な苦勞の末完成、出席者と希望者に配布して大変好評でした。常日頃、

十期生はグループ活動が盛んで、ゴルフ同好会・テニス同好会・囲碁同好会・短歌同好会・東京十期会・旅行会等を主催し、家族・友人を仲間巻き込んで継続して楽しく活動しております。来年から古希を迎える年代ですが、スポーツ活動・文化活動に老いて益々盛んな十期生です。

第十一期卒業生

卒業してから五十年

鴨沂三三会 戸川 隆博

昭和三十三年卒業の同級生の二年に一度の集いです。昭和三十一年四月に六〇〇名の同級生は希望を抱きながら入学し、三十四年三月に進学・社会へと巣立っていった。机を並べて既に半世紀を過ぎ、学び舎から幾つにも伸びた道を、各々の足で踏み出していった。

卒業して五十年のこの年に十回目の記念を兼ねた同窓会を開きます。毎回一〇〇名を越す同級生が各地より集いますが、五十年前に別れたまま一度も顔を見せない友の消息と久しぶりに会えそうな期待を抱きながらの出席も頓挫し願いかなわず他界した友。二年に一度のspanは、短いよう変化は確実に起っています。前回まで元気だった友、その前まで出ていた友、あまりうれしくない便りばかりではない。今までどうしていたのか初めて出席してくれた友も、まだまだ毎回いる。なにか新発見をしたみたいだが、五十年前の面

影がどこかにうかがえる……。

第十回鴨沂三三会開催のお知らせ

と き 二〇〇八年十月十八日(土)

会 場 京都ロイヤルホテル&SPA

受 付 午前十一時

記念撮影 午前十一時三〇分

開 会 午前十二時

※今回は、記念の節目として、心を歌う若手のシャンソン歌手 渋谷文太郎さんを迎え、『千の風にとつて』をはじめとして、ジャンルを越えた美しい曲で趣向をかえたい。

そして一人でも多くの三三会の参集を、世話人一同願っています。

第十二期卒業生

来年十月に九回目を開催します

第九回同窓会幹事長 渡邊 敏盛

我々十二期生の同窓会としては、卒業以来二十二年と六ヶ月を経た八二年十月に第一回を開催。以後、八六年十一月、八九年十月、九三年十一月、九八年二月、〇一年十一月、〇四年十月、〇七年六月と、三年又は四年間隔で計八回の同窓会を開いてきた。

今回、思いもよらぬ幹事長就任の依頼に戸惑いを隠せぬまま引き受けてしまったのを今でも悔いている心境だ。

今回は、来年〇九年十月に第九回を開催する予定である。卒業時六一一名を数えた同期生も今や物故者を除くと五七一名となり、四十名の同期生が亡くなっている。寂しい限りである。又出席いただく恩師の衰えも忍びないものを感じる。そんな事もあり、今回は二

年半ほどの間隔で開催することにした。何にも代えられない同期生との集まりは、途絶える事なく続いて欲しいものだ。

それにしても、最近の鴨沂高校の沈滞ぶりには歯がゆい思いが強い。同期生には優秀な人材が豊富で誇らしい思いを持っているが、最近の卒業生の国立大学への進学率は極端に低いと聞く。何とかならないものかと悔しい思いである。

第十三期卒業生

三年毎開催を二年毎に変更し次回を開催

安井 洌

前回平成十七年(二〇〇五年)宝ヶ池プリンスホテル以来、三年振りに二〇〇八年度の総会を六月七日(土)中江廉君(三組)を実行委員長にして、蹴上のウエスティンホテル京都「瑞穂の間」で開催しました。一九六一年三月卒業時十三クラス六二名の同窓生の内約五〇〇名に案内を出し、恩師深井隆三・山下俊正両先生をゲストに、一四〇名の出席者を迎え盛大に開催しました。五十歳を迎えた平成四年(一九九二年)以来五回目の開催となりましたが、初参加者も二桁を越え、遠く海外や関東方面からも多くの参加がありました。出席できなかつた同窓生の近況についても、毎回返信はがきに寄せられたコメントをプログラムに掲載し情報の交換を行っています。総会では、次々回七十歳での同窓会を想定し、三年毎開催を二年毎開催に繰り上げることが決められました。毎回最新の住所録を発行していますが、すでに物故者も五十名を超え、元担任の毛利 優先生が昨年三月・加畑弥栄次先生が今年一月相次いで他界され

ました。平澤 裕会長以下五十名体制の実行委員会では次回平成二十二年(二〇一〇年)開催を目指しています。

※右写真は、クラス毎の記念写真の撮影風景です。昨年三月他界された毛利優先生担任の三組の同窓生で、クラス別では最大十八名の出席がありました。



第十四期卒業生

同窓会活動いろいろ

木村 正

私達第十四期は、十三クラス六〇〇余名の卒業生で、所謂団塊の世代の先走り位置し

ていると言えましょうか。昭和五十七年に第一回同期同窓会を開催して以来、平成十八年で第七回を数えて、来年の平成二十一年十月三日に第八回目の同窓会を「京都ホテル・オークラ」にて開催を予定しています。六十才還暦を過ぎて、年金を頂く年頃になって、いよいよ意気盛んに、小中学の同窓会やクラス会の呼び声が掛かると、家族の者に不思議がられながら、喜々として参加する今日この頃です。十四期で、少し頭の体操をしたい者は、「マージャン同好会」を二月と八月に二十名程、飲み会を兼ねながら京都で集っています。この他定番になった「鴨々クラブ」と言う旅行会が、毎年熱心に企画されて、昨年はクラブとして初めて海外へ足を伸ばし、韓国の釜山市を十九名で観光しました。今年は、七月六日から出発する、仙台方面「奥の細道、芭蕉の足跡をたどる初夏、東北」へ二泊三日の旅が計画されています。どの世代にあっても、四〇〇五〇才の声を聞く頃には同期の同窓会活動が自然に盛んになるものですが、他方で、我々の全体同窓会が此度、創立六十周年を記念して母校で開催されるのは誠に意義深いものがあります。これをきっかけにして、同窓会の在り方、地域社会との「共生」や心の「癒し」等について考えてみようと思います。

第十五期卒業生

十二月六日(土)京都国際ホテルへ!!

谷口明日香

卒業二十周年に第一回の同期会を開いてから五年毎に開催している会も今年六回目を迎えます。今まで京大会場、白沙村荘、岡崎ホテル、都ホテル、京都ホテルで集りました。

毎回参加者は一〇〇〜一五〇人程度です。先日、各組より選出された男女一名ずつの幹事により今回の第一回実行委員会を開きました。その結果十二月六日(土)京都国際ホテルでの開催に決定しました。これからは名簿の整理や当日の内容をどんなものにするか相談していただくことになっています。師走になります。皆さん今から予定に入れて誘い合わせの上ご参加下さい。「イチゴ会」(第十五期関東組)は二〇〇五年は「東京湾クルージング」、二〇〇六年は「米沢牛を堪能するツアー」、二〇〇七年は「たらの芽パーティー山中湖」、二〇〇八年は「伊豆高原をエンジョイ」と毎回十名〜二十名の参加者で年一回大きなイベントを計画されています。新年会、京都や外国からの同期生を迎えるの昼食会等もあり結束力が強いようです。

第十九期卒業生

鴨の河原辺

青木 栄子

私たち十九期卒業生は、同期会の名称を「鴨沂高校十九期会」と名づけ毎年懇親会を開いています。昨年懇親会後に出した会報からの抜粋です。

二〇〇七年八月十一日(土) in 京都東急ホテル
十九期会懇親会が例年通り開催されました。昨年は懐かしい母校鴨沂高校の見学が行われ、参加者も多く大変好評でした。今回は夏の開催となりましたが、そろそろこの時期(お盆前後)の開催には一考を要するようになってきました。以前のようにこの時期には帰省するというより、帰省する子どもや孫を迎



える立場となった方が少なくなく、出席が困難な状況が生まれているようです。返信からもそのことがうかがわれる便りが多くあります。さて懇親会は毎度おなじみの方をはじめ、初めての参加者、久しぶりの方々で大いに旧交を温めました。四半世紀を経て話題も変わりました。定年、親の介護、孫のこと等：：でも、いつものことながら、会えばすぐに高校時代に戻る場合は、何といつても代えがたいものです。二次会は四条大宮の「吉珍」で、ここから参加の方もおられ再び盛り上がりました。来年は秋の開催です。私達もいよいよ還暦を迎えます。今年は来られなかった

方も、来年はぜひ参加して下さい。多くの参加をお待ちしています。

* * *

他に会報には出欠を聞く往復はがきの近況コーナーの全文が載っています。〇〇君元気なんや、××さん大変やったんやなあとか長い間会えない人でもどうしているのか良くわかります。今は会えない人も何時かは参加出来ることを願って、会は続いています。

*事務局注：「鴨の河原辺」は十九期会報のタイトルです。

第二十期卒業生

二十期生の近況について

事務局 山崎 賢二・金子久美子

同窓会の皆様、お元気ですか？ 鴨沂高校創立六十周年を迎え、多くの同窓生の皆様のご健勝であることを祈念しています。しわも寄り、頭も薄くなる還暦前の二十期生ですが、なお定年まで頑張っている年頃です。子供も巣立ち、孫の成長を楽しんでいる年頃でもあります。学年同窓会も二〇〇四年に全日空ホテルで、更に、二〇〇六年にも開催し、新しい参加者も遠路より集ってくれています。学年の名物男「柏野」「深尾」の死去により、寂しい感もありますが、なお元気な面と、衰えの面を混在させた年頃です。有志で集る「呑沂会」をつくり、四季折々に合わせた呑み会で楽しんでいます。まもなく、全国転勤の人々も定年を迎えて落ち着かれるので、いずれ、学年同窓会を催す運びになると思います。どの学年もかと思いますが、住所不明者が多くいますので、お声をかけていただき、次回も多くの方の参加をお待ちしています。

六十一年の恩恵に感謝

同窓会はこうして誕生した

一期 富田 武夫

そう、あれは昭和二十四年二月だった。

「富田君、一寸話がある。来てくれ。」

職員室の前で浜中先生に呼びとめられた。古来、「一寸来い、には油断するな」と。お説教をくう様な事は最近していないし、なんじやらホイ！と別室へお供を。ほどなく山本先生も来られた。京一中の浜中先生、府一女はえぬきの山本先生と鴨沂高校の実力者御二方、これは只事ではなさそう……。

「卒業を前にどうしても同窓会の形をつくっておきたい。受験をひかえ大変だが、適任者がいない。一肌ぬいでくれないか、母校のために頼むよ……。」と頭を下げられては。

「エーッ。そんなものどないして……。」頼まれると嫌やと言えない「オッチョコチヨイ」。まして浜中先生は一中の恩師、流石古狸(?)の先生。人を見る目が「オッチョコチヨイを御存知」……。

師範附属小、京一中、出身校を始め京三中、三高、同志社、府一女……同窓会の資料をかき集めた。熟読玩味する余裕もない。徹夜で勉強した事もないのに一晩かかって会則らしきものを。一番参考にしたのは「師範附属小東校友会」の会則、小学校だから分かりやすい(?)というのではなく……(無断盗用の箇所も)。骨組みだけの会則を(デッチあげ)というと語弊があるが……。不都合、不具合があれば優秀な後輩諸君が改正してくれると……。

一件落着と思っていたところ、両先生から



役員(理事、理事長……、学校側が直接タッチしないものらしく)を決めてくれとまた難題。そんな無茶な。一期生は九クラス、一クラス五十人。受験を前に全員集合はとてどもとて、各クラスの友人に頼んで協力依頼、昼休みに『五分拝借』とクラスを回って説明、お願い。一週間以上かかって各クラス男女一人ずつの理事が誕生、常任理事、理事長の互選、といつても一堂に集るのが難しい、持ち回り協議じゃないが、持ち回り互選もやり、やっと理事長に「秋田宗平君」を選び大役を終えた。

「御苦労さん。」両先生の言葉でホッとひと息……。一部友人の協力に感謝している。

ところが、これで終わりではなかった、三月卒業式の日。式の前、H君、Kさんが呼ばれて卒業生の最前列に着席。その隣へ座る様にと御指示。お二人は卒業生総代と優等生だるうワカルワカルが三人目は？ 無事式も終了、「富田君から同窓会の説明があります。」なるほど……。壇上上がってみると、半年間でも始めての男女共学の別れを惜しむ人たちばかり、「賛成の方は大きな拍手を……。」大声で怒鳴ると、びっくりしたのか嵐の様な拍手……。

こうしてなんとか誕生した「鴨沂高校同窓会」。今年で六十年になると……。昭和二十四

訃報

鴨沂高校同窓会の再建にご尽力いただいた秋田宗平元会長(一期)が、二〇〇六年五月七日、原発性肝臓がんのため急逝されました。京都工芸繊維大学教授を退官後、日本福祉大学教授。享年七十七歳でした。謹んでご冥福をお祈りいたします。

秋田宗平君を偲び

一期 木村 要

君と私とが出会ったのは昭和二十三年の新制高校第二次編成の九月、男女共学が始まった鴨沂高校の三年二組の教室だったね。でも、余り教室に出なかつた私が実際に君と親しくなったのは、卒業後同窓会を設立して君が会長になった時、私が君に頼まれて厚生部長となり鴨沂高校に予備校を創った時からだったね。その後、君とは急速に親しくなり、共に陰となり日向となつて同窓会の発展に努力したね。その一つに、当時大の男嫌いと噂されていらつしやつた鴨沂会の榎村会長と私が二時間お話をさ

年夏、第一回総会を開催。演劇を。田中千禾夫を「蛍の歌」勝山弘君と吉田さんらが大熱演。これを機会に「わがこと終われり」と常任理事を引退。転勤、引越しが多く今日まで同窓会とも御無沙汰続きで申訳ない。六十年もたつと記憶も薄れ、資料もなく、記憶違いがあれば平に御容赦を。わずか半年の鴨沂高校生活。同居していた洛北高校が合併した時、悪友と「洛北高校」の看板をこわして「サラバ洛北、煙と消える」と燃やした事、初めてもらった「ラヴレター」……思い出はつきない。

「八十は老いの序の口冬若葉」

島田正吾がこんな句を残している。後期高齢者も元氣を出して……。

せて頂き、三十七年だったであろうか鴨沂高校の同窓会の理事会に鴨沂会館の使用を許して頂いた時も、皆は無謀だと言つたのに君だけが私を信用してくれていたよね。でも、馬鹿な一人の理事のためにその後の会館使用は許可されなくなり、私も同窓会の運営に情熱を失ってしまったため、その後、君と私は安田朝子君を交えて鴨沂高校一期生の同窓会「朋駿会」の設立・運営まで顔を合わす事は無かつたね。君の笑顔に再会した時、もう離れまいぞと心に決めたにも拘らず、今ではもう何時まで待っても君には逢えないと思うと却つて、何時も満面に笑みを湛え、相手の話を聞いている君の顔が常に脳裡に見え隠れして消える事の無い今日この頃だよ。

【鴨沂】のいわれを教えてください

京都鴨沂高校MLを楽しむ

五期 熱田 善男

【鴨沂】のいわれを教えてください
みなさま江。熱田善男(5期)からです。鴨沂高校時代からの疑問、【鴨沂】のいわれを、ご存知なら、教えていただきたいのです。よろしくおねがいします。

【西田俊彦(13期)です。鴨沂は【かものほとり】と言う意味だと聞いておりました。まずは一言。】

【語源的には正しいと思いますが、鴨沂高校の前身の府一の同窓会の名前が【鴨沂会】ですので、随分昔からあるのでは。北運の隣の会館の名前が鴨沂会館です。詳しくは、毛利先生に聞か、14期のかわさつくんに聞くと良く判るかもしれません。13期・佐谷勲】

【14期井上です。鴨沂のいわれ、私が記憶している意味は、【沂】は川と岸が寄ったところ、転じて川と川の合流点のこと、【鴨沂】は鴨川と高野川の合流点をいいます。】

【板橋在【14期のかわさつくん】らしき、川崎です。ご指名にあずかりまして恐縮でございます。鴨沂の由来は、井上君のお話と同じことを聞いている程度で、すみません、それ以上は存知ません。以前東京在住で、今、京都に戻られた、谷林さんが鴨沂にからんで、中国の【沂】の字の付いた地を調べておられたので、詳しくないでしょうか。また、我々よりも、はるか昔か先輩の鴨沂会の大姉の方々がご存知なのでは？ 鴨川のほとりの意味は

解るのですが、誰がどこから、この鴨沂の文字を創作したのか？ あるいは、古くからあったのか？ そんなところを私も知りたい。」

【18期の西村源四郎です。若輩者で、浅学の徒ですが、比較的暇であるということもあり又、地元にいるという責任を感じ、誰が鴨沂という単語を作り、鴨沂高校と名付けたかを書物から調べられないか、図書館を中心に調べてきました。その結果、『母校創立一〇〇年記念 京都府立第一高等女学校 財団法人 京都鴨沂会 沿革史』という、一〇〇頁ほどの本があり、次のような項目が載っていました。

明治二十年七月二十八日、旧卒業生相謀りて同窓会を組織し、名付けて、『京都鴨沂会』という。当時の会員一五五名、客員一三名。昭和二十三年四月一日、新制高等学校発足。京都府立鴨沂高校。

これらの内容から、皆さまご指摘のように府一の同窓会にちなんで命名したと思われる。」

「いやあー、素晴らしいご幼少の頃がほのぼのと分かる文章ですね。さて、鴨沂の校名の件、少し調べた結果を次に記します。一つは、洛北の初代校長先生の追悼の文だと思えます。もう一つは、鴨沂高校、府一の前身の女紅場に関する記事です。

『書柳校長先生と同窓会―洛北高第二回卒・岡部 陽二』

因みに、お隣の鴨沂高校の場合には旧府一高女と継続して同じ校舎を使い、校名も府一の同窓会である鴨沂会に由来しているにも拘らず、別々の同窓会が並立してきたが、府一側の高齢化で運営難に陥って漸く一昨年

に至り合体した由である。
『第二十二回・女紅場の碑―一九九八年十二月十五日号』

明治三十一年には寺町荒神口に移転、戦後の学制改革で府立鴨沂高校になりました。新校名は明治二十年に結成された同窓会【京都鴨沂会】に基づきます。

実は、鴨沂という語源が中国の故事、景観などに由来するかなと思いついてみたのですが、どうもそういうことではなさそうですね。やはり、鴨川のほとりと言うことでの名づけのようですね。佐谷勲(13期)】

「左は、『鴨沂高校旧職員の会』発行の『鴨沂の歩み・二号―新しい教育像を求めて―』からのものです。

『校章の由来など―校章のデザインをされた美術の則元醇先生』

昭和二十三年十月に、戦後始めて鴨沂高校が開校され、生徒も教師も大変だった事だけが心に残っております。新制へ切り替えのため、大多数の生徒が突然移動となった事と、今でこそ当たり前の事と馴れたけれど、突然男女共学となった事も大きな変化であり、正に青天の霹靂でした。特に鴨沂高校は、元府立第一女学校であって、お姫様学校と言われていた位おしとやかなお嬢様ばかりであった所に、突然戦時中軍事教練で鍛えられてきた荒っぽい男子生徒が地域制のため転校して来て、今までの女子用の弱い上品なつくりの椅子だったのが片っ端から破損され、今まで床も上履きで雑巾がけで光っていたのもまたたく間に土足で入られるようになって床に穴があいたりして、全部頑丈なものに代えるのに大変でした。さて、その当時は今と異なっていて、男子生徒は全部学生帽を着用していたので、校章が決まることを待ちあぐんでいましたが、一目見てすぐ分かるような優秀なデザインは思い浮かばず、意見もま

とまらず、とうとう校章デザインを一般から懸賞募集する事になりました。デザイン専門の国立京都工芸繊維大学の図案科の赤沢教授に審査をお願いする事になり、厳正な審査を見守るためにも生徒会から代表生徒も臨席して貰って、審査結果が出て、図らずも一等二等三等賞まで全部、実は私の応募作品が入選したのには驚きました。デザインに含まれている意味をご存知の方が少ないので説明しておきます。新制高校ができた当時の高校教育の第一が公民的資質を養成する、第二が男女共学、第三が個性の確立であったので、その第一の公民的資質を持った人間を造るという事から、公人と言う字を図案化した形で、チューリップのような形の公の字の上部の羽の形は飛躍、左右同形は男女平等、男女同権、男女共学を意味し、中央の人の字の形は地形で、加茂川と高野川が出町の所で合流して鴨川となって流れていく川の形で、鴨川の両岸にまたがった地域の公民的資質を養成する学校即ち鴨沂を表しています。佐谷勲(13期)記」

【佐谷勲さま、熱田善男(5期)です。大変貴重な情報、ありがとうございます。なかでも、デザインに含まれている意味は、【加茂川と高野川が合流して鴨川になる】を表現しているぐらいしか知らずに、重要な意味がこめられている知らないまま半世紀が過ぎてしまっていたのだと、反省しています。これからもよろしくおねがいします。】

【熱田さま、皆さま、18期の西村です。この項目に関してはほぼ意見が出揃ったようですが、鴨沂会誌一三二一に掲載されている文を紹介させていただきます。

『鴨沂に思う―(考古学者・京都橋女子大学教授) 高校八期・猪熊兼勝』

百年余前、鴨川のあたりは、日本の将来に

思いをはせる、若き青年たちが集り、鴨川を散策し、川岸、土手に腰をかけ、激論をたかわした。今、丸太町橋の東畔、川端通りを上ると、京大病院の南手前にカラオケ・ホール『マルマンビーンズ』の南隅に小さな石標が建つ、『梁川星巖邸址』の文字が彫られている。梁川星巖は、あまり著名でないが、詩吟愛好家の間では、頼山陽と並ぶ二大憂国詩人として知られる。星巖は岐阜県大垣の人で、幼時に父母を失い、江戸へ出て宋詩を学ぶ。江戸で名声をかせ、門下生であった紅蘭と結婚し、貧困のなかで、共に詩を作る。夫婦ともども、頼山陽、佐久間象山等と知人となる。星巖五七才、紅蘭四四才の時、京都に上洛し、川端丸太町で家をかまえ、鴨川のせせらぎを意味する『鴨沂小庵』と名づけた。鴨沂の名前は、ここに始まると思っている。弘化三年、一八四六年のことである。川西畔の鴨川公園に広がる家並みを見ると、ワラ葺の『頼山陽の邸』、その北には後に志賀直哉等の白樺派の拠点となった旅館『信楽』、そして桂小五郎逃亡説のある『大和屋』旅館が並ぶ。頼山陽は、花街のあった東三本木通りに、文政六年、家を求め『水西荘』と称した。つまり鴨川の西の寓の意であった。星巖は頼山陽と親交深く、頼山陽の三男、頼三樹三郎とも親しく、おそらく、こうした縁もあって、鴨川の対岸の真正面に家を探したのであろう。そして『水西荘』に対する『鴨沂小庵』と名付けたのである。山陽は庭内に梅花竹樹を植え、小草堂を鴨水に臨み、東山に対して建てている。これこそ、東山と鴨川を借景とした山紫水明処と称したのである。星巖は足繁く、対岸の水西荘に通ったと思われる。頼三樹三郎とは、詩の交流だけではなかった。当時、江戸では井伊直弼の強権によって、日米通商条約が調印され、それに対し、一橋慶喜を將軍に推する画策がされていた。一橋派の拠点

であった京都は、反政府の志士が結集しつづあった。星巖は、同志らと、国情を憂い、憂国の詩を作っていたのである。まさに、中国、戦国時代の詩人、屈原の姿が重なる。幕府は、安政三年、老中間部詮勝を京都に派遣し、尊皇派を弾圧にかかる。星巖は逮捕される。妻、紅蘭は、手紙などの書類を便所に棄てた。直後、鴨沂小庵は家宅捜査を受け、紅蘭は捕らわれる。安政の大獄の始まりであった。捕らわれた反政府主義者は百名を越え、頼三樹三郎は刑死。星巖は処刑

オーキよ、お起き

八期 猪熊 兼勝

小学生の頃、府一の隣に住んでいた。毎日、コンクリートの高い扉越しに幼稚園の童謡が聞こえてきた。夜になると校舎の大きな屋根がお化けに見えて恐かった。戦後学区制度が改組され、男子生徒の姿も見えなくなった。一期生の先輩に聞くと、午前・午後と男女が入れ替え授業で、美しい女生徒にラブレターを出したツワモノの話聞いた。その女生徒は、後に日本を代表する女優となった山本富士子さんだった。そうだ。

戦後の動乱期、学生の街・京都は、新しい日本を創ろうとする若者の熱気が高まっていた。こんななかから鴨沂の平和を愛し、自由を求める校風が培われた。青春の純粋な気持ちから沸き起こった正義感が燃えたのである。幕末の国を憂う若き志士たちや、二十世紀半ばに独立を勝ち取った国の若き指導者と何処かにオーバーラップするところがある。新聞も読まなく、携帯電話に没頭し、世界の動向に無関心な近頃の若

直前病死する。紅蘭は、後日、釈放され、夫の遺稿集をまとめ、絵を描き、余生を送ったと言つ。」

* * * * *

これを、お読みになって、どう思われますか。すばらしい会話ですね。とても楽しそうでしょう。昨、平成十三年三月に開設した「京都鴨沂高校」というMLの会話の一部なのです。MLは、メーリング・リストといい、直訳すると郵便の宛名帳ですが「なーんだ」

者を見ると腹立たしい。鴨沂の生徒は打算や利害や無気力とは無関係であった。

鴨沂を愛する人たちにとって、共通の思い出がある。伝統ある九条家の正門を入ると東南に数本の木立で囲まれた空間を「ウイーンの森」と呼んでいた。僅かな校庭でも思い出に残る場所である。何年前か、正門をくぐって愕然とした。なんと校庭は駐車場と化しているではないか。もう二十一世紀の卒業生にはウイーンの森の思い出はない。

京都から遠く離れた異郷の地で、京言葉を耳にすると、つい高校は何処と聞いてしまふ。よそ者には読めない「オーキ」出身と聞くと、今まで他人行儀だった人が、旧知のように親しくなる。瞬時にして年の差もなくなり、思いでも共有する。そこには誰にもわからない、特別な雰囲気があり、鴨沂の響きは秘密結社にも似た暗号である。

同窓会と呼ぶ結社は、高校に入学した時から入会が決められたものであり脱会は許されない掟がある。会員は磨り減った階段の柔らかい木目や、和風の校門にも共通の思い出である。そこには私たちの、一人ずつの記憶が、亡霊のように残っているはずだ。

と思わないで下さい。このMLは、とても奥が深いのです。ML宛に、パソコンでEメールを送ると、同じものが参加しているメンバー全員に配信されるので、メンバー全員で発言や情報を共有できるのです。だから、僅かな期間に、こんなすばらしいまとめができたのです。

以上、熱田善男(五期)が代表して投稿させていただきます。原文に勝手に手を入れさせていただきますが、ご容赦ください。

ずだ。

千年前、紫式部宅が東京極通一条(盧山寺付近)にあった頃、母校の場所には道長が自慢の法成寺の大伽藍を建てた。なにしろ平等院のモデルとなった。北運動場の地下には大寺院の基礎が鴨川あたりまで続くと言われている。この歴史の故地に縁のある私立英語学校は、京都府立第一高等女学校となり、鴨沂高等学校となった。本同窓会は今年で還暦を迎えるが、明治五年設立の女紅場から数えると一二六年目のダブルスコアである。

最近、オーキが昔の面影がないとの噂を聞く。歴史の経済的価値を最も熟知している京都人は、日本最初の女子教育の記念碑を守る必要がある。中学生の修学旅行の見学コースに入ってもよいのではないか。そうすれば校庭の駐車場化は消滅し、ウイーンの森もよみがえるだろう。場合によっては、他府県の中学卒業生も受験可能にしてはどうだろうか。原点に戻り、私立学校になってもオーキは頑張っしてほしい。

「眠れるオーキよ、お起き」

京都鴨沂会は鴨沂高校を応援しています

奨学金と高校教育振興助成金

社団法人 京都鴨沂会

京都鴨沂会は、明治20年京都府立京都第一高等女学校(府一)の卒業生155名を会員とする同窓会として発足しましたが、明治42年には、「社団法人京都鴨沂会」として認可され、来年には創立100年となります。その目的は、「教育その他の公益事業に寄与し、かつ会員の親睦を図り、知徳を磨くこと」と定款に規定された文部科学省所管の公益法人であります。

京都鴨沂会は、大正時代から、母校への多額の寄付および在校生への学資援助など、女子中等教育を支援し、さらに、女子高等教育を目標に掲げ、「女子教育発祥の地一京都に、女子大学を誕生させたい」という鴨沂会員の長年の夢は、公開講座「婦人高等講座」および各種講習会の開催、昭和2年に「京都府立女子専門学校」の認可、「鴨沂学園研究科」の設置とつぎつぎと実現されてきました。

戦後も「文化講座」、「文化教室」、「鴨沂高校への教育援助費」は長年継続された公益事業でありましたが、学資支援事業は中断されていました。現在の京都鴨沂会は、この教育振興の伝統を受け継ぎ「京都鴨沂会奨学金」および「京都鴨沂会高等学校教育振興助成金」を公益事業として積極

的に進めています。平成19年度は2年生2名、平成20年度は2年生3名および3年生3名の成績優秀な鴨沂高校生に月額1万円の奨学金を支給し、鴨沂高校の「学力向上フロンティア計画」にも支援をはじめております。

公益法人制度改革により本年12月から新制度への移行申請が始められ、変革の時代を迎えようとしています。鴨沂会員は、府一卒業生が大半で、鴨沂高校卒業の会員は全体の1割であります。本年度の役員選挙で理事の8割が高校卒と制度の改革と共に担い手も替わろうとしています。後輩を育英し母校の発展を支援するのは卒業生の役割だと思います。京都鴨沂会は、幸い会費と会員のボランティアそして鴨沂会館の施設利用による収益事業の果実によって母校を応援することができます。

鴨沂高校同窓会のみなさん!! 社団法人京都鴨沂会の新しい担い手としてその伝統を引き継ぎ、母校の教育さらに広く高校教育を振興するために力を発揮していただきたいと思ひます。

是非とも多くの同窓会員が鴨沂会に入会して教育振興事業に参加してくださる様願ひします。

京都鴨沂会館のご案内



京都鴨沂会館は皆様の憩いと交歓の場、そして教養の泉です。美り豊かな人生を素敵に過ごすために是非ご利用下さい。

会場・会議室 平日 ◆ 10:00～21:00
日祝日 ◆ 10:00～17:00

数名の小集会場から100名収容の大ホールまで。和室もございます。同窓会、研修会、会議などの他、コーラス、管弦楽などの練習、バレエ、ダンスのレッスン場などにご利用下さい。ピアノやスライドの用意もございます。

文化教室

広く市民の皆様を対象に様々な講座を設けております。「文学講座・源氏物語」「書道」「女声コーラス 沙羅」「音楽教室」「俳画・幸翠会」「金剛流謡曲仕舞教室」「俳句同好会」「手芸こでまり会」などがございます。是非ご参加下さい。

*お問い合わせ (社)京都鴨沂会 TEL 075-231-1001 FAX 075-241-2354

京都鴨沂会 女声合唱団「沙羅」第11回定期演奏会

日時 ◆ 平成20年9月27日(土) 開場:午後1時半 開演:午後2時～
場所 ◆ 京都市北文化会館〔地下鉄北大路駅下車〕

〒603-8142 京都市北区小山北上総町49-2 ☎075-493-0567

プログラム ◆ 【第1部の1】メンデルスゾーンの合唱曲より6曲

【第1部の2】メンデルスゾーン=重唱曲より2曲

井上真理子、松本多美子、太田 俊代

【第2部】平井康三郎作曲の日本歌曲より10曲 (担当:吉川道子さん)

事務局だより

*同窓会の現況と今後の課題

一、会員数

★名簿登録数

一五三〇七名

(内訳) 住所確認済 一七四三五名※

不明 六九〇〇名
退物 九五六名
会故 一六名

※地域(都道府県)別会員数

北海道	29	長野	14	岡山	42
青森	1	愛知	150	山島	21
秋田	1	富山	10	山口	13
山形	3	石川	31	鳥取	10
岩手	3	福井	16	島根	12
宮城	7	三重	52	福岡	49
福島	3	岐阜	37	佐賀	1
新潟	7	滋賀	749	長崎	3
栃木	12	京都	13,097	大分	4
群馬	5	奈良	203	熊本	3
茨城	44	和歌山	15	宮崎	4
千葉	240	大阪	947	鹿児島	9
埼玉	128	兵庫	411	沖縄	1
東京	535	徳島	4	外国	75
神奈川	367	香川	6	計	17,435 (名)
山梨	2	愛媛	9		
静岡	47	高知	6		

二、会員データの取扱いについて

① 利用目的

会報の発行、総会の通知、同期会等各種同窓会活動のため

② 登録データの範囲

氏名(旧姓)、住所、〒番号、電話番号、

③ データの開示、訂正等

卒業期、卒業年度、卒業時クラス、同番号、会費納入金額・年度、シリアル番号
保有個人データについては、本人の求めに応じて開示、訂正、利用停止を行う。

④ その他
総会、理事会、同期会、クラス会の開催のための幹事となる会員以外の第三者には、本人の同意を得ずにデータの提供を行わない。

三、名簿管理用コンピュータの概要

★設置場所 鴨沂会館三階

★機種等の概要

DELL製パソコン (Dimension 4600C)
CD-RW/DVDコンボドライブ
Windows XP Professional
Microsoft Office 2003 Profession
(Word, Excel, Access)

17インチFT液晶カラーモニター
キャノン製A3ノビ対応カラープリンター
(PIXUS 6500i)

四、同窓会役員

★平成十七年度～平成十九年度

会長 鈴木 正穂(19)
副会長 藤野 英雄(4)
理事長 西尾 齊(10)
会計 田中 清子(5) 横井 猛彦(30)
監事 戸川 隆博(11)
理事 木村 要(1) 仲谷 喬(3)
小山あけみ(3) 藤野 英雄(4)
田中 清子(5) 山本 啓造(5)
今岡 公榮(7) 谷水三喜男(7)
猪熊 兼勝(8) 黒川 令三(8)
川島美美子(10) 小西 逞夫(10)
西尾 齊(10) 戸川 隆博(11)
河合 勝彦(13) 安井 洌(13)
木村 正(14) 山本 早苗(14)

会費についてのお願い

平成12年度より同窓会財政の健全化を目的として、会員の皆様より会費のご協力をお願いすることが前々回の総会で決議されました。

この旨を同窓会会報でお伝えしましたところ、多くの会員の皆様からご賛同と会費の納入を戴きました。中には25年分を前納下さる方もおられて、改めて同窓会への期待と母校への皆様の思いを感じることが出来、お世話をすする私どもも改めてその責の大きさを思い、たいへん感激しております。ほんとうにありがとうございました。

しかし、上々の滑り出しとは言いながらその数は全体から致しますとまだまだ少数でもございます。何とぞ同窓会のより一層の発展と確かな財政基盤を確立して継続していくために、会員の皆様方のご協力が欠かせません。個別の納入状況は別紙にその詳細が記載してありますので是非ご確認、ご参照下さい。

同窓会の活動は、実費弁償すらない役員を完全な無料奉仕によって賄われています。役員の皆様方の志のみに依拠することも限界があります。おりしも長年の懸案であった事務所の設置も、鴨沂会のご厚意で鴨沂会館内にその場所を得ることが出来、一步前進が果たせました。しかしながら、専任の事務員が配置されているわけでもなく、将来的には希望があるものの、まだまだ懸案は数多くございます。

これら懸案を一つ一つ解決していくためにも健全財政の確立は不可欠です。そしてそれは皆様方からお預かりする会費に依拠する以外、方法はありません。

何とぞより一層、皆様方のお気持ちに委ねて会費の納入にご協力をお願い致します。そして鴨沂高校同窓会が皆様方の母校への思いと、それぞれの有益な人間関係の拠り所となれば幸いです。

最後に同窓生の皆様の健康とご発展をお祈りしてお願いと致します。

五、今後の課題

「個人情報保護法」の施行により、五十八期以降の卒業生について高校から名簿等の提供がなく、新規卒業生の同窓会名簿への登録が出来ない状況にあります。

*編集後記

▼今号は、創立六〇周年の節目の年の発行となり、それを記念する「同窓会はこうして誕生した」「鴨沂」のいわれを教えてください」などを特集しました▼「同窓会開催報告」は、同窓生の貴重な情報源です。次号へも各期からの報告をぜひお寄せください▼十月二十六日(日)母校での総会には多数誘い合わせてご出席ください▼最後に今回、会報発行にアドバイス・サポートいただいた(有)プリンティングサービス様に改めてお礼を申し上げます (例)